

# 再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例措置 (固定資産税)

制度概要 【適用期限：令和5年度末まで】

○再生可能エネルギー発電設備について、新たに固定資産税が課せられることになった年度から3年度分の固定資産税に限り、課税標準を、課税標準となるべき価格から以下の割合に軽減する。

【太陽光】



【風力】



【バイオマス】



【地熱】



【中小水力】



【課税標準の一覧】

| 対象設備               | 発電出力      | 課税標準 (※1)           | 要件                                     |
|--------------------|-----------|---------------------|--|
| 太陽光発電設備            | 1,000kW以上 | 3/4<br>(7/12~11/12) | FIT・FIP認定外<br>(自家消費型補助金※2の交付を受け取得した設備) |
|                    | 1,000kW未満 | 2/3<br>(1/2~5/6)    |  |
| 風力発電設備             | 20kW以上    | 2/3<br>(1/2~5/6)    | FIT・FIP認定                              |
|                    | 20kW未満    | 3/4<br>(7/12~11/12) |  |
| 中小水力発電設備           | 5,000kW以上 | 3/4<br>(7/12~11/12) |  |
|                    | 5,000kW未満 | 1/2<br>(1/3~2/3)    |  |
| 地熱発電設備             | 1,000kW以上 | 1/2<br>(1/3~2/3)    |  |
|                    | 1,000kW未満 | 2/3<br>(1/2~5/6)    |  |
| バイオマス発電設備 (2万kW未満) | 1万kW以上    | 2/3<br>(1/2~5/6)    |  |
|                    | 1万kW未満    | 1/2<br>(1/3~2/3)    |  |

※1 軽減率について、各自治体が一定の幅で独自に軽減率を設定できる「わがまち特例」を適用(上表の括弧書の間で設定)。

※2 環境省予算「再生可能エネルギー事業者支援事業費」(令和2年度再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業の第6号事業、令和3年度以降はソーラーカーポートの導入を行う事業)が該当。